



「臨床検査項目基本コードセット」について

2019年8月

一般財団法人医療情報システム開発センター（以下、MEDIS という）は臨床検査マスターの開発以来、その維持管理を行うとともに、一般社団法人日本臨床検査医学会や臨床検査項目標準マスター運用協議会¹と連携しながら標準臨床検査項目コード（JLAC10）の普及を推進してきました。

MEDIS が行った電子カルテシステムを導入する一般病院の臨床検査部門への調査（2019年2月；有効回答数 256、調査票送付先 1,970）によれば、自院の検査項目に JLAC10 コードを対応付け（マッピング）していた施設は 24%（一部項目の実施を含む）であり、病床数が大きいほどその割合が高い傾向にありました。また、「今後予定している」、「現時点で予定なし」とした施設は各々 19%、57%で、2016年10月の調査結果（有効回答数 280/2,140）に比べ、実施施設の割合に増加はみられませんでした。また、今後予定するとした施設の割合は 8.7ポイント増大しました。また、JLAC コードマッピングを行っていた施設のうち、作業に必要な資源（人材や予算等）を確保できている施設は 26%に留まりました。

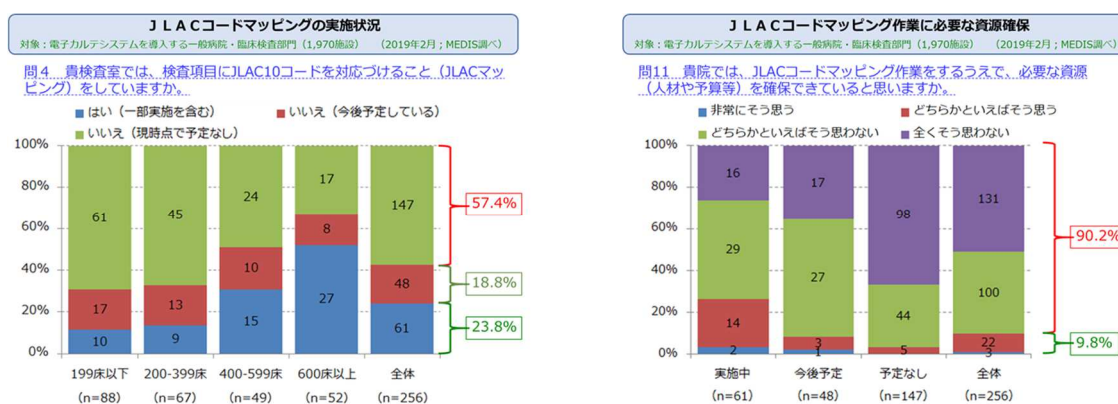


Fig.1. アンケート調査結果（2019年2月調べ）

医療機関へ JLAC コードを有効に普及させていくのに、JLAC10 要素コード表や臨床検査マスターを利用したこれまでのコーディング方法では限界があります。そこで、MEDIS では「モノ（体外診断用医薬品）から JLAC コードを導く」という新たな手法を提案し、その効果を検証するとともに、基になるマスター「JLAC コード対応表」をこれまで整備して

¹ 2012年6月に設立された任意団体で、一般社団法人日本臨床検査医学会、一般社団法人日本医療情報学会、一般社団法人日本臨床検査薬協会、一般社団法人日本衛生検査所協会、一般社団法人保健医療福祉情報システム工業会、一般財団法人医療情報システム開発センターが参加する。http://kmuk.umin.jp/

きました²。この手法によって、従来に比べて JLAC コーディング作業は効率的になり、付番された JLAC コードにも誤りや施設間不統一が低減することが期待できます。



Fig.2. JLAC コーディングの新手法

ここに公開する「**臨床検査項目基本コードセット**」は JLAC コード対応表のうち標準コード化が特に期待される臨床検査項目について、市販されている体外診断用医薬品（一部、検体検査用医療機器）と対照させて JLAC10 と JLAC11 コードを収載しています。収載項目の選定にあたっては、臨床検査項目標準マスター運用協議会で作成された JLAC10 運用事例表（2 大学病院、1 公立病院、及び 1 研究所病院で実施された件数上位 97%項目）³、2010 年度医療情報化促進事業・診療検査基盤整備事業で作成された標準化マスタコード一覧（某衛生検査所が診療所から受託した件数上位 99%項目）⁴、特定健康診査項目、6 臨床学会が作成した生活習慣病自己管理項目セット集項目^{5,6}、及び、幾つかの研究プロジェクトが収集している検査項目を参考に約 120 項目を精選しました。

この資料により、今後 JLAC マッピング作業を予定する医療機関において、対象検査項目の作業順位を決めるうえで参考になるとともに、各種データベース事業においては、より多

² 平成 28 年度厚生労働省委託事業「臨床検査マスター普及に向けた調査研究業務一式」、平成 29 年度厚生労働省委託事業「臨床検査マスター普及に向けた調査・研究等一式」
³ 山上浩志, 山田 修, 康 東天, 大江和彦. 「JLAC10 運用事例表」作成にあたっての方針と手法. 医療情報学 2014 ; 34 (Suppl.) : 210-211.
⁴ 西日本電信電話株式会社. 平成 22 年度医療情報化促進事業（診療検査基盤整備事業）—どこでも MY 病院構想及びシームレスな地域連携医療の実現に向けた実証事業—成果報告書. 平成 24 年 2 月. <https://www.nttdata-strategy.com/medit/pdf/240423/4-report.pdf> (cited 2019 Aug 8)
⁵ 6 臨床学会. 生活習慣病コア項目セット集 (第 2 版) および生活習慣病自己管理項目セット集 (第 2 版). http://jami.jp/medicalFields/2018Oct23_02.pdf (cited 2019 Aug 8)
⁶ Nakashima N, Noda M, Ueki K, Koga T, Hayashi Y, Yamazaki K, Nakagami T, Ohara M, Gochi A, Matsumura Y, Kimura M, Ohe K, Kang D, Toya Y, Yamagata K, Yokote K, Ikeda S, Mitsutake N, Yamamoto R, Tanizawa Y. Recommended configuration for personal health records by standardized data item sets for diabetes mellitus and associated chronic diseases: A report from Collaborative Initiative by six Japanese Associations. Diabetology International (2019) 10:85–92. <https://doi.org/10.1007/s13340-019-00389-7> (cited 2019 Aug 8)

くの施設から精度の良いデータを収集することにつながると期待できます。

#	フィールド名	文字数	文字列長	2バイト文字	空欄	説明	例示
1	管理番号-総番	10	固定			管理番号 (総番)	2019-999LM
2	管理番号-校番	4				# 1で組み合わせたレコードを一覧に識別するために用いる	1
3	体外診察-承認番号	255		可	可	体外診察用医薬品 (または検体検査用医薬品) の承認、認証または届出番号 掲載あった場合には「~」で連結する	21300AMY9999000
4	体外診察-販売名	255		可	可	体外診察用医薬品 (または検体検査用医薬品) の販売名	イロハ試薬 FT 4
5	体外診察-般的名称	255		可	可	体外診察用医薬品 (または検体検査用医薬品) の般的名称 JMDNコードと一般的名称を「^」で連結して表記する。掲載あった場合には「~」で連結する	303090000<遊離サイロキシニン>キット~8005-4003<クラスII汎用・生化学・免疫・内分泌検査用シリンジ>
6	体外診察-製造販売業者	255		可	可	体外診察用医薬品 (または検体検査用医薬品) の製造販売業者	アイウエ株式会社
7	JLAC検査名称	255		可	可	JLAC検査名称	遊離サイロキシニン (FT4)
8	JLAC10-17	21	固定			JLAC10の5要素 (# 9, 11, 13, 15, 17) を「-」で連結した文字列	H2006-0401-250-002-C2
9	JLAC11-測定物	5	固定			JLAC11の第1要素 (測定物) コード	H2006
10	JLAC11-測定物 (名称)	255		可		# 9に対応した名称	遊離サイロキシニン
11	JLAC11-副別	4	固定			JLAC11の第2要素 (副別) コード	0401
12	JLAC11-副別 (名称)	255		可		# 11に対応した名称	測定値
13	JLAC11-材料	3	固定			JLAC11の第3要素 (材料) コード	250
14	JLAC11-材料 (名称)	255		可		# 13に対応した名称	血清
15	JLAC11-測定法	3	固定			JLAC11の第4要素 (測定法) コード	002
16	JLAC11-測定法 (名称)	255		可		# 15に対応した名称	化学・生物発光イムノアッセイ (ECLIA) -イロハ試薬 FT 4
17	JLAC11-結果単位	2	固定			JLAC11の第5要素 (結果単位) コード	C2
18	JLAC11-結果単位 (名称)	255		可		# 17に対応した名称	ng/dL
19	JLAC11-副材料	255		可		JLAC11の第3要素 (材料) について、その他の材料を記載 「コードへ名称」で表記し、複数あった場合には「~」で連結する	240<血漿~242<血漿 (EDTA入り) ~243<血漿 (ヘパリン入り) ~244<血漿 (クエン酸入り)
20	JLAC10-副単位	255		可		JLAC10の第5要素 (結果単位) について、その他の単位を記載 「コードへ名称」で表記し、複数あった場合は「~」で連結する	E6<pmol/L
21	JLAC10-17	21	固定			JLAC10の5要素 (# 22, 24, 26, 28, 30) を「-」で連結した文字列	48035-0000-023-053-01
22	JLAC10-分析物	5	固定			JLAC10 (第1要素) 測定物コード	48035
23	JLAC10-分析物 (名称)	255		可		# 22に対応した名称	FT4
24	JLAC10-副別	4	固定			JLAC10 (第2要素) 副別コード	0000
25	JLAC10-副別 (名称)	255		可		# 24に対応した名称	
26	JLAC10-材料	3	固定			JLAC10 (第3要素) 材料コード	023
27	JLAC10-材料 (名称)	255		可		# 26に対応した名称	血清
28	JLAC10-測定法	3	固定			JLAC10 (第4要素) 測定法コード	053
29	JLAC10-測定法 (名称)	255		可		# 28に対応した名称	化学・生物発光イムノアッセイ (ECLIA)
30	JLAC10-結果単位	2	固定			JLAC10 (第5要素) 結果単位コード	01
31	JLAC10-結果単位 (名称)	255		可		# 30に対応した名称	定置値
32	JLAC10-副材料	255		可		JLAC10の第3要素 (材料) について、その他の材料を記載 「コードへ名称」で表記し、複数あった場合には「~」で連結する	022<血漿
33	保険-診療行為コード	9	固定		可	医療診療行為メスターに属する診療行為コード	160033310
34	保険-診療行為名称	255		可	可	医療診療行為メスターに属する漢字名称	遊離サイロキシニン (FT4)
35	保険-点数	8		可	可	医療診療行為メスターに属する点数	130
36	備考-体外診察	255		可	可	# 3~6に関連した備考	
37	備考-JLAC	255		可	可	# 7~32に関連した備考	
38	備考-保険	255		可	可	# 33~35に関連した備考	
39	更新区分	1	固定			レコード更新事由 (新規: 3, 修正: 5, 削除: 1)	3
40	更新日付	8	固定			レコード最終更新日付 (YYYYMMDD)	20190801

データはテキストファイルで提供される。レコードを構成するフィールド間の区切りには「|」を用いる。各レコードは改行により終了する。

(例示)

2019-999LM|121300AMY9999000|イロハ試薬 FT 4|303090000<遊離サイロキシニン>キット~8005-4003<クラスII汎用・生化学・免疫・内分泌検査用シリンジ>~アズアイエ株式会社|遊離サイロキシニン (FT4) |H2006-0401-250-002-C2|H2006|遊離サイロキシニン
|0401|測定値|250|血清|002|化学・生物発光イムノアッセイ (ECLIA) -イロハ試薬 FT 4|C2|ng/dL|240<血漿~242<血漿 (EDTA入り) ~243<血漿 (ヘパリン入り) ~244<血漿 (クエン酸入り) ~244<血漿 (ヘパリン入り) ~244<血漿 (クエン酸入り) |48035-0000-023-053-01|48035|FT4|0000|023|血清|053|化学・生物発光イムノアッセイ (ECLIA) |01|定置値|160033310|遊離サイロキシニン (FT4) |130|||3|20190801

Fig.3. 臨床検査項目基本コードセットのレコードフォーマット

(余白)

1	2	3	4	5
管理番号-幹番	管理番号-枝番	体外診薬-承認等番号	体外診薬-販売名	体外診薬-一般の名称
2019-017ZZ	1 20900AMY00154000	ピトロス プリーT4		30309000^遊離サイロキシニンキット
2019-018ZZ	1 21000AMZ00838000	スフィアライト FT4 - (S)		30309000^遊離サイロキシニンキット
2019-019ZZ	1 21300AMY00028000	フレックスカートリッジ プリーT4 FT4		30309000^遊離サイロキシニンキット
2019-020ZZ	1 21300AMY00492000	エクルーシス試験 FT4		30309000^遊離サイロキシニンキット~80054003^ヘクスIII汎用・生化学・免疫・内分泌検査用シリーズ
2019-021ZZ	1 21400AMZ00570000	ルミナルスプレスト FT4		30309000^遊離サイロキシニンキット

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
体外診薬-製造販売業者	JLAC検査名称	JLAC11-17	JLAC11-測定物	JLAC11-測定物(名称)	JLAC11-識別	JLAC11-識別(名称)	JLAC11-材料	JLAC11-材料(名称)	JLAC11-測定法
オーン・クリニカル・ダイアグノスティックス株式会社	遊離サイロキシニン (FT4)	H2006-0401-250-013-E6	H2006	遊離サイロキシニン	0401	測定値	250	血清	013
三洋化成工業株式会社 京都工場	遊離サイロキシニン (FT4)	H2006-0401-250-011-C2	H2006	遊離サイロキシニン	0401	測定値	250	血清	011
シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社	遊離サイロキシニン (FT4)	H2006-0401-250-017-C2	H2006	遊離サイロキシニン	0401	測定値	250	血清	017
ロシユ・ダイアグノスティックス株式会社	遊離サイロキシニン (FT4)	H2006-0401-250-002-C2	H2006	遊離サイロキシニン	0401	測定値	250	血清	002
富士レボ株式会社	遊離サイロキシニン (FT4)	H2006-0401-250-003-C2	H2006	遊離サイロキシニン	0401	測定値	250	血清	003

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
JLAC11-測定法(名称)	JLAC11-結果単位(名称)	JLAC11-結果単位(名称)	JLAC11-副材料	JLAC11-副単位	JLAC10-17	JLAC10-分析物	JLAC10-分析物(名称)	JLAC10-識別	JLAC10-識別(名称)	JLAC10-材料	JLAC10-材料(名称)	JLAC10-測定法
化学・生物発光イムノアッセイ (CLEIA) ピトロス プリーT4	E6	pmol/L			48035-0000-023-052-01	4B035	FT4	0000	023	血清	052	
化学・生物発光イムノアッセイ (CLEIA) エスフィアライト FT4 - (S)	C2	ng/dL	240^血漿		48035-0000-023-052-01	4B035	FT4	0000	023	血清	052	
エンザイムイムノアッセイ (EIA) フレックスカートリッジ プリーT4 FT4	C2	ng/dL	240^血漿		48035-0000-023-023-01	4B035	FT4	0000	023	血清	023	
化学・生物発光イムノアッセイ (ECLIA) エクルーシス試験 FT4	C2	ng/dL	240^血漿		48035-0000-023-053-01	4B035	FT4	0000	023	血清	053	
化学・生物発光イムノアッセイ (CLEIA) ルミナルスプレスト FT4	C2	ng/dL	240^血漿		48035-0000-023-052-01	4B035	FT4	0000	023	血清	052	

29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
JLAC10-測定法(名称)	JLAC10-結果識別	JLAC10-結果識別(名称)	JLAC10-副材料	保険-診療行為コード	保険-診療行為名称	保険-点数	備考-体外診薬	備考-JLAC	備考-保険	更新区分	更新日付
化学・生物発光イムノアッセイ (CLEIA)	01	定量値		160033310	遊離サイロキシニン (FT4)	130				3	20190801
化学・生物発光イムノアッセイ (CLEIA)	01	定量値	022^血漿	160033310	遊離サイロキシニン (FT4)	130				3	20190801
エンザイムイムノアッセイ (EIA)	01	定量値	022^血漿	160033310	遊離サイロキシニン (FT4)	130				3	20190801
化学・生物発光イムノアッセイ (ECLIA)	01	定量値	022^血漿	160033310	遊離サイロキシニン (FT4)	130				3	20190801
化学・生物発光イムノアッセイ (CLEIA)	01	定量値	022^血漿	160033310	遊離サイロキシニン (FT4)	130				3	20190801

(余白)